

2024年度PMからのメッセージ

氏名・所属:竹迫 良範(株式会社リクルート データ推進室 アドバンスドテクノロジーラボ 所長)



略歴:

2002年 広島市立大学 情報科学部 情報機械システム工学科 卒業
2002年 株式会社ドリームアーツ 入社
2005年 サイボウズ・ラボ株式会社 入社
Shibuya.pmリーダー、U-20プログラミングコンテスト審査委員、
SECCON実行委員長、セキュリティ・キャンプ講師など
2015年 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 技術フェロー
2016年 IPA 産業サイバーセキュリティセンター 非常勤嘱託
2016年 首都大学東京 システムデザイン学部 非常勤講師
2017年 株式会社メルカリ 技術顧問
2018年 国立高等専門学校機構 高知工業高等専門学校 客員教授
2018年 株式会社リクルートテクノロジーズ 執行役員
2018年 NICT ナショナルサイバートレーニングセンター 協力研究員
2018年 大阪大学 大学院情報科学研究科 招聘教員
2019年 東京都立産業技術高等専門学校 客員教授
2020年 株式会社リクルート データプロダクトユニット ユニット長
2020年 株式会社Scalar 技術顧問
2020年 東京都立産業技術大学院大学 非常勤講師
2022年 IPA セキュリティ・キャンプ全国大会 講師主査
2024年 株式会社リクルート
データ推進室 アドバンスドテクノロジーラボ所長

専門分野:

セキュリティ技術全般、バイナリ、
低レイヤー、組込機器開発、IoT、AI、
オープンソース、開発ツール、プロ
グラミング教育、人材育成、LLM

メッセージ:

通常のソフトウェア開発現場ではなかなか腰を据えて取り組むことが難しいセキュリティ基盤技術、低レイヤー系、開発ツールの提案を歓迎します。その中でも、ライフワークとして継続的に取り組めるテーマで、筋の良い「車輪の再発明」は大歓迎です。学習目的のために車輪の再発明をすることもありますが、未踏ではそれ以上の価値が求められます。プロジェクトの採択には、革新的なテーマ設定ができているかどうか、それらを解決できる技術力を有しているか、それらを自分たちで取り組む競争優位性があるか、プロジェクト期間終了後の将来性があるか、社会への新しい学びは得られるか、など複数の観点から多面的に評価を行います。

今の時代こそ、アプリケーション層のプログラムを実装する際にも、低レイヤーの技術にも精通し、下から上まで一気通貫でモノを作れる技術を有して手を動かしていることが競争優位性になり得ます。物事の原理原則を理解した上で型を上手に破り、自分の新しい型を作る、そんな試行錯誤の中で新しい技術革新が生まれることがあります。成功するまで継続するために、自分で一からコードを書くのが大好きで、プログラミングそのものに熱中できる情熱も重要です。その結果、世界に新しい価値を一つでも提供することができれば、胸を張って未踏の領域に踏み込めたと言えるでしょう。

車輪の再発明でも大歓迎、実装が大変でも自分が情熱を持って続けられる、内発的動機に基づいた提案をお待ちしております。

審査基準:

1. 課題設定力
未踏の新領域に進出するための独自性・革新性のあるテーマ設定ができているかどうか
2. 問題解決力
自分で設定した課題を解決するために必要な技術力・問題解決力を有しているかどうか
3. 技術の幅と深さ
誰にも負けない技術の幅と深さがあり、自分達で開発する意義・優位性があるかどうか
4. 将来性
終了後もさらなる発展が望め、社会的インパクトを与える可能性を秘めているかどうか
5. まなび
本プロジェクト遂行によって、個人と社会のそれぞれで新しい学びが得られるかどうか